

作成：Bグループ9班

①整備されていない川



この地域は川が多くあり、水田用水や農業用水として利用されている。しかし、舗装されていない箇所があったので、子供が1人で近づかないよう整備する必要がある。中には、畑間の簡易的な橋もあったが、崩壊しており危ないと感じた。水はとても綺麗であるため、水遊び場を作ると、子供の憩いの場として活用できそうである。

②グラウンド



週に3回ほど地域の方々がグラウンドゴルフを行っている。夏には盆踊りも開催されるなど、地域の憩いの場でもある。他のスポーツもできそうなほど広く、桜などを植樹すれば、お花見スポットとしても活用できそうな場所である。

③掲示板



かなり古くから設置されている様子であったが、現在は使用されていない。広報などを掲示することで、都農町での活動をより周知してもらえるきっかけになるのではないかと。

④空き家

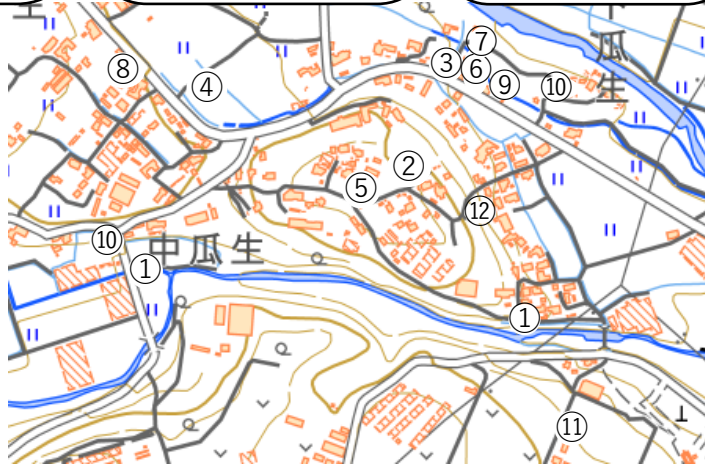


田んぼの真ん中にある空き家。鬱蒼とした木々に囲まれており、死角が多くある。廃墟などは溜まり場になることもあるので、そのまま放置するのは危険である。また、空き家は周囲が田んぼで開放的な場所にあるので、景観が損なわれていると感じた。

⑤貯水タンク



地域の方の話によると、以前水道が通っていなかった際に使われていたもの。現在は水道が通り、物置になってしまった。この地域の昔の生活様式を伺うことのできる貴重な建物である。とても大きいので雨宿りや災害時の集合の目印に活用できるのではないかと。



⑥ハザードマップ



公民館前に設置されており、住民が公民館を利用した際にはハザードマップも確認できるようになっている。しかし、公民館は細い道を抜けた場所に位置しており、誰もがいつでも確認できる場所ではなかった。車道沿いなど、より人の目の留まりやすい場所に設置する必要がある。

⑦下瓜生公民館(営農研修館)



中瓜生公民館と比べて、視界が開けていて綺麗に手入れされていた。しかし、公民館の場所を示す看板や目印がなかったため、人がわかりやすいように表示する必要がある。

⑧中瓜生(営農研修館)



整備されておらず、草木が生い茂り落ち葉が多量落ちていた。人が集まりやすい環境として暗い雰囲気は不適切だと感じたため、木や落ち葉を整理し、雰囲気改善する必要があるのではないかと。

⑨番魂碑



2010年に宮崎県で口蹄疫が発生し、都農町で県内初の牛の感染が確認された。口蹄疫は他にも川南町、新富町などの、計5市6町で確認され、全部で約29万頭の家畜が殺処分された。これらの奪われた尊い命が安らかにあるように願って平成22年10月に建立された石碑である。

⑩いろいろな石碑



地域内の様々な場所にあった石碑。番魂碑とは異なり、どのような目的で建立されたかが不明の石碑だった。しかし、建立されているのには理由があるはずなので、横に建立された経緯を明記すると教訓伝承に繋がるのではないかと。

⑪高台から望む景色



標高約55mの地点から見下ろす街並みと海。写真以上に綺麗で感動した。周りに高い建物がないので、空を広く感じることができる。せっかくの景色であるが、舗装されていない坂を登らないと、この景色を味わうことが出来ない。樹木が生い茂った使われていない土地があったので、そこを整備して公園やドッグランなどに活用できそうである。

⑫菅原神社



担い手不足のためか、手入れされておらず、手水舎の水が枯れていたり、所々に蜘蛛の巣や落ち葉が多くあった。菅原道真にゆかりのある神社であるので、都農と菅原神社の関わりなどを通して地域文化を伝えていけるように活用できるのではないかと。

本地域は稲作や様々な農作物の栽培、畜産といった自然環境を活かした産業を盛んに行っている印象である。また、湧水や川が多くあり、水資源に恵まれている。しかし自然に恵まれている一方で、整備や管理がされていない危険性のある場所が多く見受けられた。グラウンドゴルフや旅行、盆踊りなどの地域交流が盛んで、住民間のつながりの強さを感じた。人通りはあまり多くなく、住人よりも車に遭遇することが多かった。高台に住宅があり、高齢者の多い本地域では車か自転車、コミュニティバスを利用しなければ、買い物や通院が困難な方が多いのではないかと感じた。担い手不足のためか、菅原神社や掲示板、橋など整備されていないと思われるものが多くあり、もったいなく感じた。また、石碑が建てられていたが、何のために建てられたのか分からないものがあった。地域の歴史を後世に継承していくために建てられたものが多いと思うのだが、その意味をなしていないように思えた。歴史的文化を感じられるところは管理や整備を強化して、観光資源につなげていきたい。